

授業実践事例 3

1 単元名 1節「現代社会の特色と私たち」(第1章 現代社会と私たちの生活 より)

2 校内研修との関わり

本時では「持続可能な昭和村」を作るために、自分たちがどのような活動をすれば実現可能なのか、村の防災資料をもとにして調べ学習を行う。資料から、現在の村の取り組み状況を読み取り、将来のために今あるものをどのように活用すればよいか意見交流することで、生徒たちの社会参画の意識を高めることにつながると思う。

本時の、村の防災資料から必要な情報を読み取る活動は、情報リテラシー指導計画一覧Ⅱ-②(図書館、図書資料、インターネット等を自分の目的に合わせて活用している)の能力の育成につながるものとする。

3 本時の学習

(1) ねらい

○「持続可能な社会」という現在と未来の人のつながりという面から、自らの社会参画について考え、意見を持つ。


(2) 準備

教師 …教科書・ワークシート・資料

支援員…図書資料・役場資料

生徒 …教科書・ノート・資料集・用語集

過程	学習活動	時間	支援・指導上の留意点	評価項目【方法】
導入	<p>○「持続可能な社会」という考え方について知る。</p> <p>○本時は、現在の昭和村を未来につなげるための取り組みについて考えることを知る。</p>	10	<p>・現在と将来の世代の幸福を両立させることが主な概念であることを伝え、この後の話し合い活動につなげる。</p> <p>・自らが取り組める具体的な内容が考えられることが、より望ましいことを伝える。</p>	
<p>【課題】 「持続可能な昭和村」にするために、防災や減災のためにどんなことをすればいいだろうか？</p>				
展開	<p>○各班ごとに、テーブルの上に用意された昭和村の取り組みを示すパンフレットなどの資料を読み取り、ワークシートにまとめることで村の現在の様子を知る。</p> <p>・防ぐための工夫</p>	30	<p>・防災、減災の取り組みを4つのジャンルに分け、パンフレットの内容を整理することで、村の取り組みの充実度をまとめる。</p> <p>・単なる資料の読み取りに終わ</p>	

	<p>→治山治水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> →防災無線の設置 ・逃げるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> →自主避難計画 ・しのぐための工夫 <ul style="list-style-type: none"> →防災用品の紹介 <p>○テーブルの上の図書資料から、各地で行われている防災、減災のための取り組みを読み取り、昭和村では、プラスαとして、どのようなことができるか、班ごとに意見交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防ぐ…危険箇所の緊急工事 ・伝える…防災無線以外の方法（メール配信等）の整備 ・逃げる…自主避難計画を各地区ごとに作成 ・しのぐ…防災倉庫の設置 		<p>ることなく、自分の意見をまとめるための参考資料として活用することを助言する。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・調べたり話し合っていく中で、用意した資料以外のものが必要になった場合は、教師や図書館支援員に声をかけ図書室の本を活用してもよいことを確認する。 ・自ら社会参画するべく、実現可能なもの、 <p>的に村の議会に提案できそうなものにまとめていけるように助言する。</p>	<p>○持続可能な社会を形成するための社会参画の在り方に関心をもち(◎具体的な活動内容を考えることができ)、これ以降の公民的分野の学習への意欲を高めている。</p> <p>【活動の様子・ワークシート】</p>
まとめ	<p>○班ごとに、話し合った内容を発表し、本時の振り返りを行う。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・班の代表の発表を聞いた後に、各自の考えをワークシートにまとめさせる。 ・社会参画することの大切さを実感させ、この先の公民や総合学習に生かすことを伝える。 	